

夏の教材制作実技講習会の報告

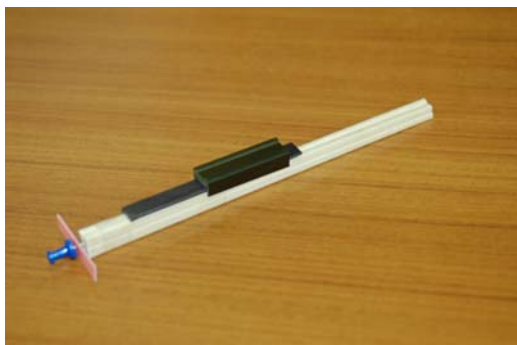
平成18年8月24日(水) 10時～16時 於 アピオ大阪 研修部



今年も約90名が参加し、「象の会」の3名の先生をお迎えしての実技講習会が開かれました。講師の内藤壽先生は養護学校にお勤めです。松永榮一先生は就学前施設にお勤めです。朝井翔二先生は養護学校を退職されわざわざ北海道からこの講習会のために来て下さいました。一人ひとりの子どもに応じたいろいろな教材を作っておられ、「おもちゃがいっぱい」などたくさんのもも出されています。また、手作り布おもちゃで活躍するグループ「さざんか」の5名の方々も講師をして下さいました。今回も、養護学校や、養護学級の先生方の希望も取り入れ、たのしくて役に立つ教材を教えていただきました。

午前の部は、「教材作成のあれこれー支援やもの作りの意味」という題で、内藤先生が講演をして下さいました。午後の部は、参加者の希望に合わせての教材づくりです。今年の教材は、2種類希望される方が多く、「簡単くすだま」が人気作品です。このくすだまは、紙テープが舞い落ちてくるもので、長く続くので演出効果抜群です。手を差し込む部分に工夫がされた「ブラックボックス」、短時間でできるように下縫いをしていただいた「鬼のマント」、マイクに向かって声を出すと自動車が動く「おーい」、など参加された方々は皆夢中になって教材を作っておられました。

「象の会」の先生方や、「さざんか」の方々、たいへんご準備ありがとうございました。有意義な時間を過ごせました。／子どもが楽しむ前に大人が感動を受けました。／毎年この日を楽しみにしてきています。／自分も頭をやわらかくして工夫しようと思いました。／クラスの子どもたちも喜んで使っています。／等の感想が寄せられました。また来年に向けての希望もたくさん出していただいています。本当に講師の先生方ありがとうございました。



木にガタガタをつけて、プロペラがまわるおもちゃがありますが、これは、加工が大変なガタガタのかわりに磁石を使ったアイデア品です。



アニメーションの原理を使ったおもちゃです。実際に作ると感動物です。応用もできそうですね。



奥に控えし、エプロン軍団は手作り布おもちゃ制作グループ「さざんか」の方々です。「鬼のエプロン」でお世話になりました。



さかなをパクパクのペリカン君、洗濯ばさみの足のとんとう虫、イカ、カニなど手の自立活動が楽しくできる秀作ですね。



ごみ箱の中にもありそうな材料。これが帽子に付けて、風で回るプロペラになります。とてもよく回りました。

<http://www15.ocn.ne.jp/~zounokai/>
象の会ホームページをご覧ください。



毎年、楽しみにして参加を続けてくださっているファンの方もおられます。